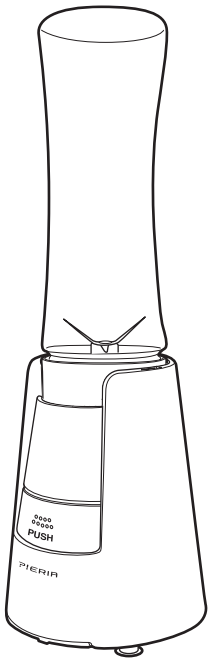
タンブラーミキサー　DJM-1401

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

もくじ

安全上のご注意……P. 2～3
各部の名称とはたらき…… P. 4
正しい使いかた…… P 5～7
調理例……P. 8～9
お手入れと保存…… P 10
修理・サービスを依頼する前に…… P 11
アフターサービスについて……裏表紙
保証書……裏表紙

仕　様

品　名	タンブラーミキサー
型　名	DJM-1401
電　源	AC100V　50/60Hz
定格消費電力	180 W
定格容量	500 ml
定格時間	連続（1 分間運転、1 分間停止の繰り返し）
電源コード長さ	約 1.4 m
寸　法	約 幅 13.5 ×奥行き 15.5 ×高さ 38 cm
質　量	約 1.0 kg

- 仕様等は改善・改良の ため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
  (This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

株式会社ドウシシャ

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 （物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。）

図記号の意味と例

	⃠は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「分解禁止」を示します。）
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。）

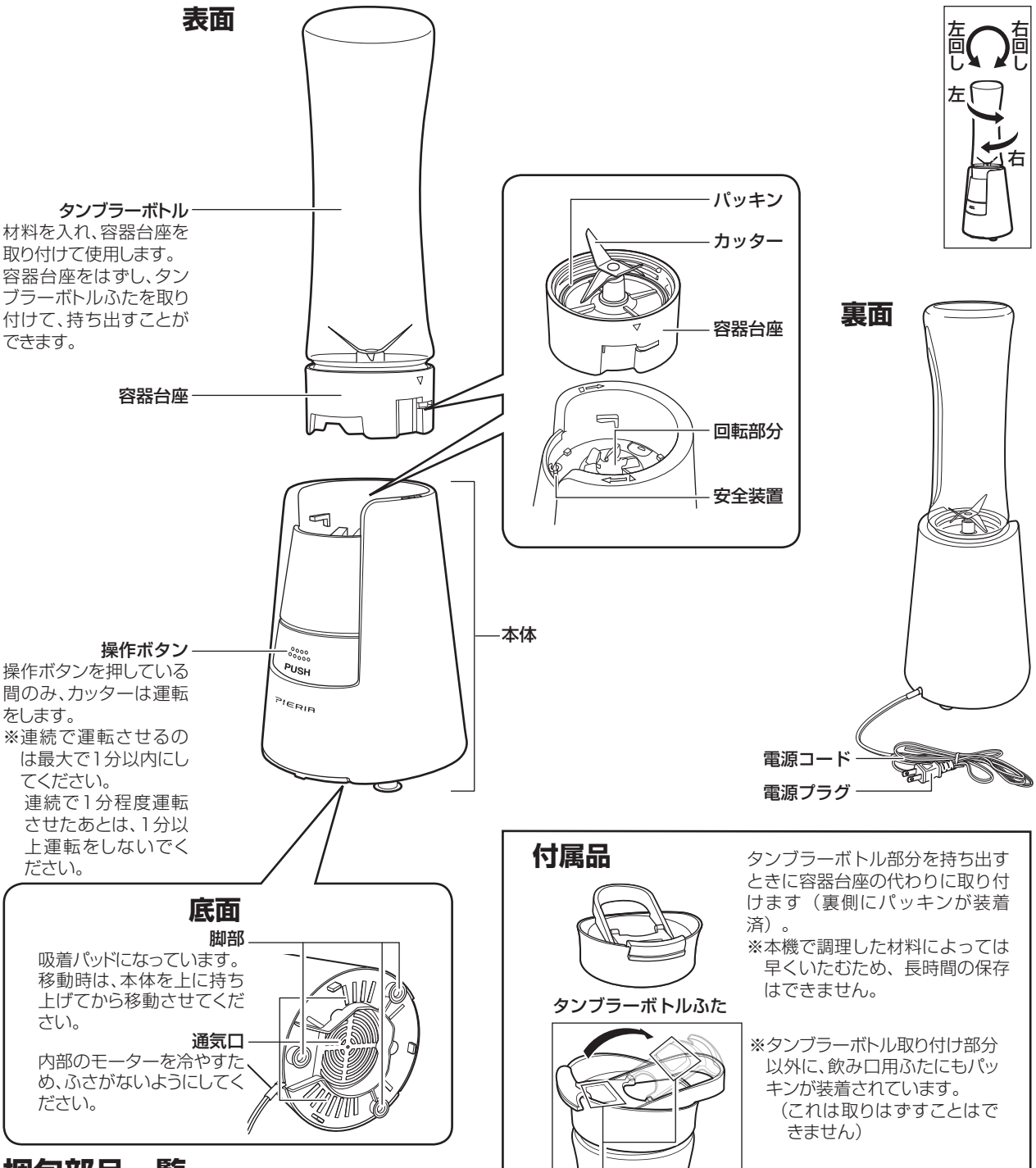
⚠警告

禁止	**交流100V以外では使用しない。** 火災・感電の原因になります。	指示	**電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。** 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。		**電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。** ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	プラグを抜く	**使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。** 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けがややけど、感電の原因になります。		**お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。** 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電や異常運転してけがの原因になります。	分解禁止	**分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。** 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙をご参照ください）にご相談ください。
	タンブラーボトルの中に指や箸、スプーンなど調理材料以外のものを入れない。 けがや故障の原因になることがあります。	ぬれ手禁止	**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。** 感電の原因になります。
	業務用として使用しない。調理以外に使用しない。 本製品は家庭用・調理用として設計・製造されています。業務用としての使用、調理以外の使用は、絶対しないでください。	水ぬれ禁止	**本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。** ショート・感電の原因になります。
使用禁止	**異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用を停止する。** 火災・感電の原因になります。		
	使用温度範囲外（0°C以下、40°C以上）では使用せず、使用温度範囲内でも1分間以上の連続使用をしない。 故障の原因になります。		

⚠注意

指示	**運転は部品を正しく取り付けてから行なう。** 故障の原因になることがあります。	禁止	**カッター刃が付いた容器台座を本体の上に置かない。** けがや故障の原因になることがあります。
指示	**電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。** 感電やショートの原因になることがあります。	禁止	**カッターに直接手を触れない。** けがの原因になることがあります。
指示	**調理する量、水分、食材に十分注意して運転する。** ・容量が最大(500ml)超、または全体の1/4より少ない ・水分が少ない・粘り気の多い食材のみ・固い食材のみなど、故障の原因になることがあります。	禁止	**運転中に移動しない。** けがや故障の原因になることがあります。
禁止	**40°C以上の熱い材料を容器に入れない。** ふきこぼれによるやけどやタンブラーボトルの割れ・変形によってけがの原因になることがあります。	禁止	**タンブラーボトルに手をかけたまま運転しない。** 故障の原因になることがあります。
禁止	**材料が多すぎたり、その他の原因で回転が止まったときは、そのままの状態で使わない。** けがや故障の原因になることがあります。	禁止	**操作ボタンを物を使って押したりしない。** けがや故障の原因になることがあります。
禁止	**空回ししない。極端に少ない材料で使用しない。** けがや故障の原因になることがあります。	禁止	**カッターや回転部を露出させた状態で運転しない。** けがの原因になることがあります。
禁止	**本体の底面にある通気口をふさがない。** 故障の原因になることがあります。	禁止	**運転中にタンブラーボトルの取りはずしはしない。** けがや故障の原因になることがあります。
禁止	**不安定な場所では使わない。** けがや故障の原因になることがあります。	禁止	**本体以外をお手入れするときは、食器用洗浄機、食器用乾燥機を使用しない。** 熱により変形したり故障の原因になることがあります。

各部の名称とはたらき



付属品

タンブラーボトルふた

タンブラーボトル部分を持ち出すときに容器台座の代わりに取り付けます（裏側にパッキンが装着済）。

※本機で調理した材料によっては早くいたむため、長時間の保存はできません。

飲み口用ふたパッキン

※タンブラーボトル取り付け部分以外に、飲み口用ふたにもパッキンが装着されています。（これは取りはずすことはできません）

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体 ..... 1 個	タンブラーボトルふた（パッキン装着済）.... 1 個
タンブラーボトル ..... 1 個	取扱説明書（保証書含む）..... 1 個
容器台座（パッキン装着済）..... 1 個	

※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、使用後、製品を収納するときに必要ですので捨てないでください。

正しい使いかた

使用前の準備

1. 本体を正しく設置する

- 安定した水平な台の上に設置してください。
- 購入後初めて使用するときは、本体以外の部分を十分に洗って十分乾燥させてから使用してください。

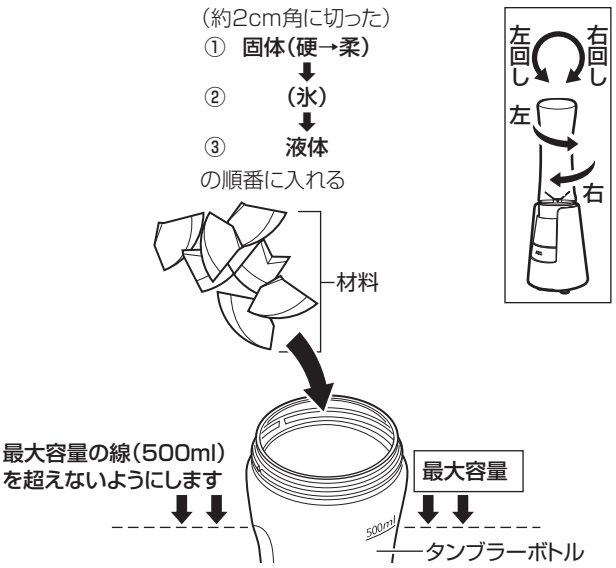
2. 容器台座・タンブラーボトルふたのパッキンが正しく取り付けられているか確認する

運転を開始／停止する

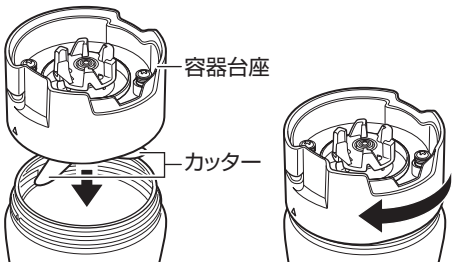
1. タンブラーボトルに材料を入れる

固体のかたいものから順に入れ、最後に液体を入れてください。

- タンブラーボトルに刻印されている、最大容量の線（500ml）以上は入れないでください。
- タンブラーボトルは耐熱性が高くないため、40℃以上の材料は入れないでください。
- 材料が少なすぎても正常に運転しません。材料はタンブラーボトルのおよそ1/4（約125ml）以上、入れるようにしてください
- 固体の材料は 2cm 角くらいに切ってから、入れてください。
- 氷を入れるときは液体を入れる前に入れます。



⚠注意 カッターに触れない。



⚠注意

- **材料を最大容量の線以上入れない。**
- **材料を1/4（約125ml）以上入れる。**
- **40℃以上の材料を入れない。**
- **材料には、水や牛乳などの水分を必ず加える。**
- **粘りが出る材料（小麦粉など）は使用しない。**
  本体に大きな負担をかけ、故障の原因となります。
- **飲み物を作る目的以外に使用しない。**
- **材料以外のものを入れない。**

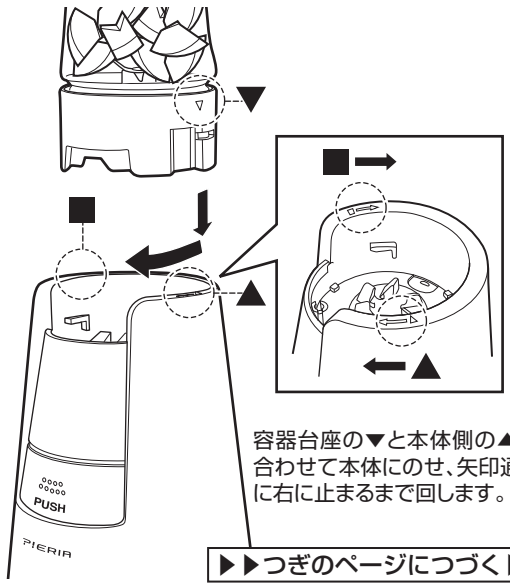
2. タンブラーボトルに容器台座を取り付ける

しっかり取り付けないと、もれたりする原因になります

⚠注意 容器台座のカッターは鋭利なため、十分注意する。

3.（容器台座が下になるように）上下回転させて、容器台座の▼マークと本体の▲マークを合わせて本体にのせ、（タンブラーボトル+容器台座を）右回しにしてロックをする

- ▲▼マークを合わせないと、ぴったりのせることができません。（本体左側の■マークと容器台座の■マークが合います。）
- 右側に止まるところまで回してロックしてください。



容器台座の▼と本体側の▲を合わせて本体にのせ、矢印通りに右に止まるまで回します。

4. 電源プラグをコンセントに差し込む

▶▶つぎのページにつづく▶▶

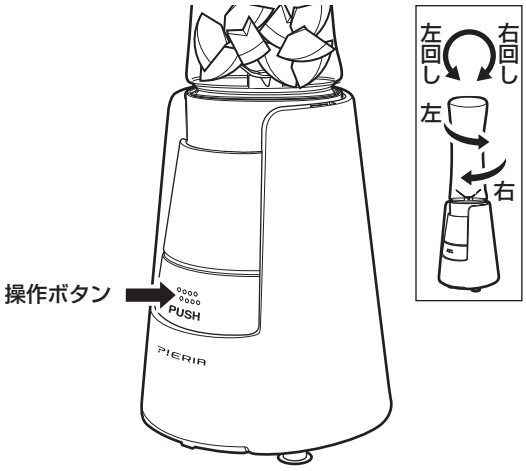
正しい使いかた（つづき）

5. 運転を開始／停止する

操作ボタンを押して運転させます。
- 操作ボタンを押していると運転を続けます。
- 操作ボタンを離すと運転を停止します。

※（タンブラーボトル+容器台座）を左回しにしてロックをしていないと、運転しません（➡手順3）。

⚠注意	• 1分間以上の連続運転をしない。 • 1分間連続運転を行なったあとは、必ず1分間以上運転をしない。



6.（タンブラーボトル+容器台座）を左に回してロックをはずし、本体から取りはずす

⚠注意	**（タンブラーボトル+容器台座）を本体から取りはずすときは、回しすぎないようにする。** （タンブラーボトル+容器台座）を本体から取りはずすとき、取りはずせる位置からさらに左に回してしまうと、タンブラーボトルと容器台座がゆるんで、内容物がもれてしまうおそれがあります。

7. 上下逆さまに（タンブラーボトルを下に・容器台座を上に）しておく

8. 電源プラグをコンセントから抜く

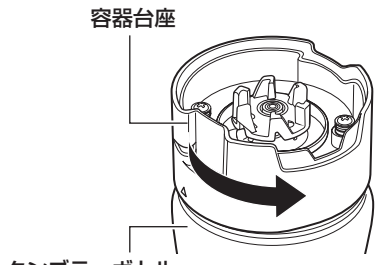
⚠警告	• **使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。** 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。 • **お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。** 感電、火災の原因になります。

タンブラーボトルふたを使う

1. 容器台座をタンブラーボトルから取りはずす

容器台座をタンブラーボトルから取りはずします。
- 材料・温度・時間によっては、調理したものが噴き出してくることがありますので、取りはずす場所を選んでください。
- 容器台座を取り付けたままにしておかないでください。カッターほかに影響を与えます。

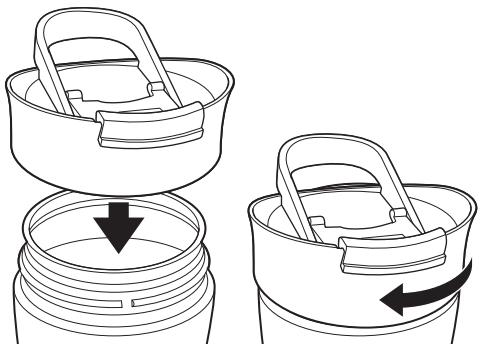
⚠注意	• **容器台座のカッターは鋭利なため、取扱いに十分注意する。** • **取りはずした容器台座は容易に触れる場所に置かない。** けがの原因になります



容器台座を左にまわして、タンブラーボトルからとりはずしてください。

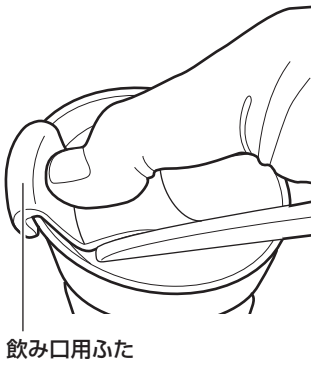
2. タンブラーボトルにタンブラーボトルふたを右に回して取り付ける

・このままの状態では、ふたが密着していないことが多く、中身がもれることがあります。



3. タンブラーボトルふたについている飲み口用ふたの内側の端を押し込む

・タンブラーボトルふたの内側の端を指で押し付け、さらに飲み口用ふたパッキンの上を指で押し込んでください。

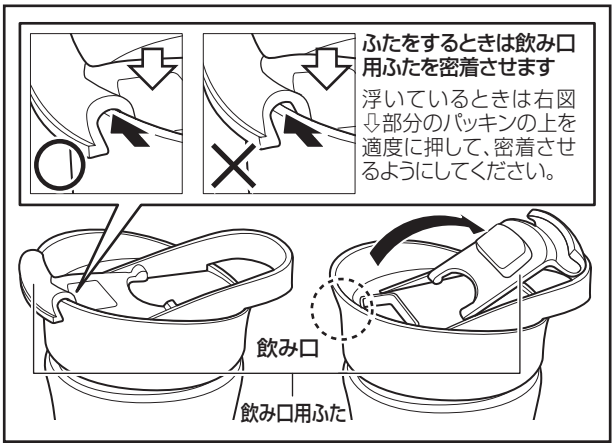


4. タンブラーボトルふた上にある飲み口用ふたが密着していることを確認する

・飲み口のふたは、しっかりしめて密着させてください。中途半端ですと、もれることがあります。

・タンブラーボトルふたは、密閉度が低いため、一時的な持ち出し以外、短時間～長時間の保存には向きません。

⚠注意	**できるだけ短時間で使用を終えるようにする。** 材料によって時間がたつと気をつけなければならないものもありますので、早めに使用を終えるようにしてください。



調理例

⚠注意	• **粘りが出る材料（小麦粉など）は使用しない。** 本体に大きな負担をかけ、故障の原因となります。 • **飲み物を作る目的以外に使用しない。**

バナナジュース

作りかた

(1) ① バナナは皮をむき、2cm 角の大きさに切ります。

(2) ① バナナから ② 角氷、③ 牛乳の順にタンブラーボトルに入れ、約 30 ～ 40 秒運転します。（必要に応じて水（または牛乳）を加えてください。）

材　料

① バナナ ..... 1 本（約 100g）
② 角氷（約 2cm 角）..... 2 ～ 3 個
③ 牛乳
..... 1/6 カップ（125ml）

にんじんジュース

作りかた

(1) ④ にんじんと ③ りんごは皮をむき、2cm 角の大きさに切ります。

(2) ①にんじんから②りんご、③はちみつ、④角氷、⑤水（または牛乳）の順にタンブラーボトルに入れ、約 50 ～ 60 秒運転します。（必要に応じて水（または牛乳）を加えてください。）

材　料

① にんじん..... 1/2 本（約 60g）
② りんご ..... 1/4 個（約 60g）
③ はちみつ..... 適量
④ 角氷（約 2cm 角）..... 2 ～ 3 個
⑤ 水（または牛乳）
.....1 カップ（150ml）

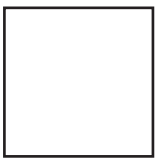
スムージー

作りかた

(1) ① ブルーベリーから ② はちみつ、③ ヨーグルト、④ 角氷、⑤ 牛乳の順にタンブラーボトルに入れ、約 30 ～ 40 秒運転します。（必要に応じて水（または牛乳）を加えてください。）

材　料

① ブルーベリー..... 50g
② はちみつ..... 小さじ 1 ～ 2 杯
③ ヨーグルト.....25g
④ 角氷（約 2cm 角）..... 5 個
⑤ 牛乳 ..... 1/3 カップ（50ml）



《参考》2cm 角・原寸大

●フルーツジュースを作るコツ

牛乳、生クリーム、カッテージチーズ、ヨーグルトなどの身近にある乳製品を加えると、レパートリーが広がります。（苦みがあるときはレモン果汁を加えてみてください。）
また、甘みが足りないときは、砂糖などに比べてカロリーの低いオリゴ糖や、ミネラル分を多く含んでいる黒砂糖や蜂蜜を加えてみましょう

●冷たいジュースを作るコツ

冷たいジュースを作るときは、材料に角氷（約 2cm）を 1 人前につき 1 ～ 2 個加えてください。

●野菜ジュースを作るコツ

野菜には、特有の苦みや土臭さがあります。気になるときは、皮をむいたり、少量の蜂蜜を加えると飲みやすくなります。
また、りんごやオレンジ、レモン果汁を加えても、飲みやすくなります。

●水分の少ない素材でジュースを作るコツ

水分の少ない素材でジュースを作るときは、水や牛乳を加えて調整してください。

お手入れと保存

⚠警告	**お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。** 感電やけがの原因になります

お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体は水をかけて洗わないでください。（感電・故障の原因になります。）

本体

本体の汚れは、ぬるま湯か台所用中性洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つく原因となることがあります。）

- 脚部の吸着パットは汚れたままにすると、劣化して吸着固定しなくなるため、本体の汚れと同様に毎回きれいにしてください。
- 本体内部を冷やすために運転中空気を底面から取り入れているため、底面にホコリがたまることがあります。使用したあとは掃除機で底面のホコリを吸ってください。

本体以外

本体以外はすべて水洗いすることができます。
容器台座・タンブラーボトルふたからパッキンを取りはずし、タンブラーボトルを含めて中性洗剤を入れたぬるま湯に浸し、時間をおいてからスポンジやブラシなどで洗ってください。すべて十分にすすいで、よく乾燥させます。

パッキンの取りはずしかた

容器台座とタンブラーボトルふたにあるパッキンは取りはずすことができます。お手入れのときには取りはずしてください。

- つまようじなどを使ってパッキンを慎重に取りはずします。
- パッキンを傷つけてしまうため、クリップなど金属は使用しないでください。

※お手入れのあとは必ずパッキンを取り付けてください。

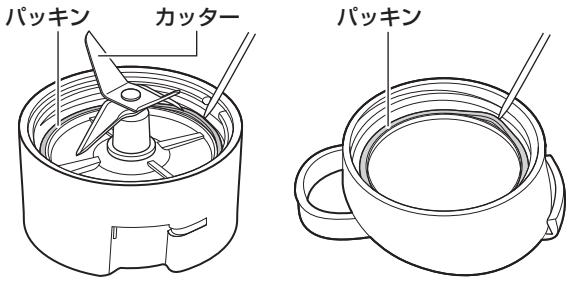
容器台座

パッキンをはずし、手や指などをけがしないように柄の長いブラシやたわしなどを使い、カッターに直接触れないようにして汚れを落としてください。
容器台座はパッキン以外分解しないでください。

⚠注意	**• 容器台座を分解しない。** **• カッターに直接触れない。**

保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- 取りはずしたパッキンを、元通りに取り付けてください。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。



⚠注意	**カッターに触れない。**

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告	**修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。**

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
操作ボタンを押してもカッターが回転しない	・電源プラグが抜けている	電源プラグをしっかり差し込む
	・材料が多すぎる	材料を取り出して適切な量にする
	・材料が大きすぎる	材料を取り出して適切な大きさにする
	・(タンブラーボトル+容器台座)を(本体に対して)回してロックしていない	▲▼を合わせて取り付け、回してロックする
	・直前に数分間連続使用をしていた（安全装置が働いて運転を止めています）	30 分以上使用しない（1 分間以上連続運転をしない）
使用中運転が止まる 振動が大きい	・材料が大きすぎる	材料を小さくする
	・材料が多すぎる	材料を少なくする
タンブラーボトルと容器台座の間からもれる	・タンブラーボトルと容器台座が正しく取り付けられていない	一度取りはずして、正しく取り付け、確実に止まるまで締め付ける
	・パッキンが正しく入っていない	パッキンを正しく入れる
タンブラーボトルとタンブラーボトルふたの間からもれる	・タンブラーボトルとタンブラーボトルふたが正しく取り付けられていない	一度取りはずして、正しく取り付け、確実に止まるまで締め付ける
	・パッキンが正しく入っていない	パッキンを正しく入れる
	・調理してから時間がたった（調理物によっては、時間がたつと発酵してガスが発生し、飲み口のふたをあけてしまうものがあります）	早めに飲むなどして中身をなくす
カッターがから回りする	・材料の種類や組み合わせ、比率によってタンブラーボトル壁面に付いたり、分離してしまうことがあります	本体からはずして、上下左右に振るなどしてカッター周りに材料を落とす・混ぜる
	・材料が少なすぎる	材料を増やす（タンブラーボトルの1/4 程度は材料を入れてください）

長年ご使用のミキサーはよく点検を

このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。